

## 第 514 回 放 送 番 組 審 議 会

1. 日 時 2015 年 12 月 15 日 (火) 午後 4 時 30 分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6 階大会議室

3. 委員総数 9 名

出席委員 5 名

委 員 長	國分 正人
委 員	小川口 寛
委 員	三浦 茂樹
委 員	恒川 かおり
委 員	大橋 綾子

欠席委員 4 名

副 委 員 長	千葉 隆史
委 員	嶋 誠治
委 員	五日市知香
委 員	山口 博弥

社 側 出 席 者	檜崎 憲二 (代表取締役社長)
	山口 英二 (専務取締役)
	青山 尚之 (常務取締役)
	関 英祐 (報道制作局長)
	石川 亮 (営業局長)
	野田 喜代志 (報道制作局専任局長)
	菊池 健 (報道制作局報道部副部長)

事 務 局	遠藤 隆 (編成局長)
	小野 絢子 (編成局編成部)

#### 4. 議 題

1. 「ニュースプラス1特集 第12回 漂流ポスト あなたへの想い」  
2015年11月21日(土)10:00-10:30
2. その他

#### 5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見

#### 6. 意 見

##### 委員側意見

- 登場される方を丁寧に描いていた。辛い気持ちが伝わってきた。
- ナレーションが内容に合っていた。
- 手紙の文面や思い出のシーンなども見せていて、素直に視聴できた。入り込みやすかった。
- 清水さんが手を合わせて語りかける場面があるが、脇でカメラが回っているという状況の中、ああいうシーンは短くして、別のシーンを、もう少し入れたほうがよかった。
- 寄せられる手紙の内容は、全て辛いものであろうと思うが、今なお風化させずに取り組んでいる赤川さんはすごい方だと思った。

##### 局側

- 手を合わせて拝んでいるシーンは1分近くある。あえて、ワンシーンワンカットで見せた。亡くした家族が目の前にいるように話しかけていることが重要だと思った。
- 手紙の文面を画面に出すことで、視聴者の方にも一緒に手紙を読んでもらいたい、気持ちを考えてもらいたいと考えた。
- 取材に応じてくださる方を探す点で苦勞した。震災から5年経ったからこそ、お話ししてくださる方もいると思っている。

12月番組審議会(今回)のテレビ放送予定

◆ 12月22日(火)11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」